

## 食品表示地域フォーラム in ぎふ概要

食品の表示に対する消費者や事業者の関心が益々高まる中で、最近の食品表示に関する情勢を多くの方に知っていただくとともに、食品表示に関する問題点を幅広く検討するため、平成15年度より、全国各地で「食品表示地域フォーラム」を農林水産省（地方農政局等）、厚生労働省、（社）日本農林規格協会、都道府県等が主催となって開催しています。

東海管内では岐阜県多治見市において、「消費者が求める食品表示」をテーマに、わかりやすく見やすい表示とはどんな表示なのかについて製造、流通、消費のそれぞれの立場から、行政の視点も加味し考える「食品表示地域フォーラム in ぎふ」を開催しました。

その中でも、今回、管内で初めて実施した職員による寸劇では、素人っぽさの中にも味があって分かりやすい内容だったと、好評を得ました。

- |        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 1 場 所  | 多治見市文化会館(小ホール) 岐阜県多治見市      |
| 2 日 時  | 平成17年10月13日(木)13:00~16:00   |
| 3 主 催  | 農政局、岐阜農政事務所、岐阜県、(社)日本農林規格協会 |
| 4 参加人数 | 消費者、食品製造者等 約200名            |
| 5 内 容  |                             |

### 0寸 劇

岐阜農政事務所職員が寸劇を行い、食品表示制度をわかりやすく説明しました。



【主婦と店員に扮する職員】

#### <寸劇のあらすじ>

農政事務所職員が扮するしっかり者の主婦とおとぼけ主婦が、スーパーの買い物の中で食品表示について学んでいく。

単品の刺身には「原産地」が表示されているのに、盛り合わせには原産地表示がないのはなぜか・・・など、難しい疑問には、JAS博士が登場してくわしく説明してくれる。

## 〇基調講演 「食の安全・安心と食品表示」

講師：丸井英二氏（順天堂大学医学部教授、食品表示に関する共同会議委員（座長））

### <講演内容>



食品は本来、人間の身体からみれば「異物」であり、絶対安全であるというものは存在しないという観点から、食の安全・安心と食品表示が消費者に与える影響についてを、医学部教授であり、食品表示に関する共同会議委員（座長）である立場から分かりやすく講演されました。

### 【講師プロフィール】

昭和47年東京大学医学部保健学科卒業。東京大学医学部助手、講師を経てハーバード大学公衆衛生大学院研究員、その後東京大学教授、国立国際医療センター研究所長。

平成12年より順天堂大学医学部公衆衛生学教室教授、平成14年より食品表示に関する共同会議委員として現在に至る。



丸井英二氏

## 〇パネルディスカッション

消費者は、食品の唯一の情報源である食品表示により多くの情報を求めるが、表示する情報が多いほど文字が小さくなり見にくくなってしまふ。真に求められるものは何か。わかりやすく見やすい表示はどんな表示なのか。製造、流通、消費のそれぞれの立場での発言がありました。



コーディネーター：丸井英二氏

消費者：水野美恵子（コープぎふ組合員理事）

製造者：小木曾智彦（マルコ醸造株式会社代表取締役）

販売者：宮地邦明（イオン株式会社 品質管理部 部長）

行政：臼井宗一（岐阜県健康福祉環境部食品安全推進室 室長）

二井幸徳（東海農政局 消費・安全部 表示・規格課長）

## 【パネラーの発言概要】

### ○水野氏（消費者）

店舗により表示の方法がちまちまである。食品表示に関する消費者の知識のレベルはさまざまなので、店舗は敷居を低く分かりやすい表示を望む。

また、食品に関する情報はなるべく多く表示してほしい。

### ○小木曾氏（製造者）

製造者である一方、消費者でもあるので食品表示の必要性は理解できる。いかにして分かりやすい表示をするか普段から考えている。

食品表示制度が変わるたびに包材を作り変えるのは、小規模業者にとって大きな負担になる。制度改正は小刻みにならないよう行政に要望する。

### ○宮地氏（販売者）

消費者の声を聞きながらより分かりやすい食品表示になるよう努力している。プライベートブランドの商品の電話番号をフリーダイヤルに変更したら、消費者からの問い合わせが増えた。その問い合わせにより消費者が何を求めているか知ることができ、分かりやすい表示をするための参考となっている。

### ○臼井氏（行政）

岐阜県では16年4月から食品安全基本条例をスタートさせた。この中で「食品の適正表示の推進」という項目を設け、食品表示ウォッチャー制度等を実施している。

### ○二井氏（行政）

農水省では、年間を通じ、小売店や中間流通業者において食品表示状況の調査や表示の真正性確認調査を実施している。表示制度については、どうしたら分かりやすい表示になるかを、厚生労働省と共同で「食品表示に関する共同会議」の中で検討を行っている。